

平成30年度事業報告書

平成30年4月 1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人支援ハウス豊さん家

1 事業の成果

豊さん家の事業も第15期目に入った。

放課後等デイサービス事業は、日出、別府、杵築の三事業所とも順調に運営できた。月別利用者数もほぼ定員10名を維持できた。4月に報酬単価が見直され、その影響が懸念されたが、報酬は少し増加した。報酬区分1の1が適用できたことも大きかった。来年度は、日出と杵築は区分1から区分2になり、運営面での影響がでてくるかもしれない。

生活介護事業については、従たる事業所として「虹別府」を開所した。当初3名の利用者でスタートしたが、5名まで利用者が増えた。全体の定員は16名となったが、年間の一日あたりの利用者数は10名で定員をかなり下回った。また、スタッフを多く投入したので、経営は赤字になった。内職など生産的活動は順調に取り組め、利用者にはわずかであるが、工賃を増額することが出来た。

相談支援事業については、相談対応件数も限界に達してきている。相談支援専門員の養成が、引き続き今後の課題である。

施設設備面については、杵築事業所の「こどもデイサービスはなみずき」の増築工事を始めた。小学生と中高生に特化した施設の利用を行いたい。また、古くなった送迎車があるので、整備していく必要がある。

人的面では、職員を増員し、支援の充実を図った。今後も処遇改善加算金を有効に活用し、労働条件等もさらに改善していきたい。

来年度の課題としては、杵築に放課後等デイサービスの事業所が2か所開所し、競争が激しくなることが予想される。

来年度に向けては、さらに職員の研修や施設・設備面等の充実を図り、より質の高いサービスの提供に力を入れていきたい。特に事業所の特色アップに努めなければならない。

また、収入が大幅に減少する可能性もあるので生活介護事業の利用者の増加に努めると共に新たな事業の展開も検討していきたい。

事業の実施状況については、以下の通りである。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害児通所支援事業	就学児のデイサービス事業を実施した。	月～土 月～金 月～土	日出町 別府市 杵築市	7名 6名 7名	障がい児 延利用者数 2,635名 延利用者数 2,480名 延利用者数 2,436名	63,025
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業及び地域生活支援事業	障害者の生活介護事業を実施した。	月～金	日出町 別府市	4名 10名	障がい者 延利用者数 2,369名	39,352
指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業	障害児・者の計画相談を実施した。	月～金	日出町	1名	障がい児 障がい者 相談者数 58名	8,398
老人デイサービス事業	実施なし					
小規模作業所事業	実施なし					